

学校教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」



学校だより

えのき 2月号



皆野町立皆野小学校 令和8年2月2日 発行

三智を得て たくましく生きる力を

吉田 浩

令和8年がスタートし、あっという間に一か月。明日は**節分**です。学校では一足早く、給食で「かみなりじる」や「大豆」が出ました。伝統行事の「豆まき」を行うご家庭もあると思います。

昔から**大豆**は米や麦と同じくらい重要な穀物として扱われており、**魔除けや生命力に関する霊力**が込められていると考えられていました。鬼を追い払うとともに立春となり、暦の上では春を迎え、進級や進学など「春」の来るのが楽しみな季節となります。

さて、明治の有名な詩人で、「春」という小説も執筆した、**島崎藤村**の言葉に『**人の世には三智がある。学んで得る智、人と交わって得る智、自ら体験して得る智が、それである**』という有名な一文があります。これは、まさに皆野小の教育目標「**自ら学び心豊かにたくましく生きる児童の育成**」を達成するために必要なことであると思っています。

『**学んで得る智**』とは、**毎日の授業で自ら学んで身に付く智**のことです。例えば、文字の書けなかった1年生が自分の考えを自分の字で書けるようになったり、算数で、四則計算の方法を学んで、様々な問題を理論的に解けるようになったり、学校で得る智はこの智が中心となります。前向きに取り組む子供たちは、授業の中で一つ一つ智を増やしています。そして学んだ智を生活の中で活かしています。

『**人と交わって得る智**』は、**人との交流を通して、コミュニケーションから得られる智**のことです。PTAの皆さんにもご協力いただいている「あいさつ」で、学校内や地域の人々と心を通わせたり、友だちや先生、家族など身近な人と触れ合ったりする中で、得る智がたくさんあります。皆野小でも「**つながり**」を大切に**する学び「みな**の学」において、様々な人との触れ合いを通じて学習を進めています。今後は、小学校統合に向けて3つの小学校での交流を進めていきます。

『**自ら体験して得る智**』とは、**様々な体験学習から育まれるたくましい智**のことです。学校行事や、総合的な学習の時間での学習がこれにあたります。特に修学旅行や、宿泊学習などの校外学習では、職



業体験や、食事作りなど校内だけでは経験できないことを学び、成長の糧としています。そして、何事にも、バランスが大切です。学校、家庭、地域で三智をバランスよく育てこそ、「たくましく生きる力」を身に付けることができます。これからも、「三智」をしっかりと蓄え、実生活の中で活かせるようにしていきます。

